

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
立山町	立山町	平成 26 年度～平成 30 年度	平成 26 年度～平成 30 年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 25 年度)	目 標 (令和元年度) A	実 績 (令和元年度) B	実績 /目標	
総人口	27, 397	26, 058	25, 987	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	20, 895	22, 384	22, 063	78. 4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	76. 3%	85. 9%	84. 9%	89. 6%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	2, 572	2, 189	2, 144	111. 7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	9. 6%	8. 4%	8. 3%	108. 3%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
未処理人口	汚水衛生未処理人口	3, 069	1, 120	1, 367	87. 3%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

〔公共下水道〕

国庫補助交付額が見込みより減少したことに伴い、公共下水道の整備量が下方修正され、当初の計画より整備が遅れたことにより、目標を達成しなかった。

〔集落排水施設等〕

元々施設を新たに整備する計画ではなく、人口減少のみを考慮して設定した目標であったが、人口減少が想定より進んだため、目標を達成しなかった。

〔未処理人口〕

公共下水道の整備が当初の計画より遅れたことによる影響が、主たる原因と考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和6年度まで

〔公共下水道〕

事業の見直しを行い、下水道よりも浄化槽による汚水処理が有利な区域を浄化槽整備区域に変更することで、汚水処理施設の速やかな整備を図る。

〔集落排水施設等〕

町として移住・定住推進に向けた施策を行っているため、農業集落排水事業としては、事業の継続と施設の適切な管理に努める。

〔未処理人口〕

下水道整備区域においては、予算の確保に努めつつ、公共下水道の着実な整備推進を図る。

浄化槽整備区域においては、個人負担のより少ない公共浄化槽等整備推進事業を拡大し、且つ単独転換に伴う既設浄化槽撤去・宅内配管工事を補助対象にすることで、合併処理浄化槽の整備推進を図る。

(都道府県知事の所見)

未処理人口の目標未達成の原因であった公共下水道の整備について、その整備区域の一部を浄化槽整備区域に見直すこととしており、また、浄化槽整備についても効果的な対策を講ずることと認められるので、当初の目標の達成が期待される。